

ワクチン抗体価検査の方法

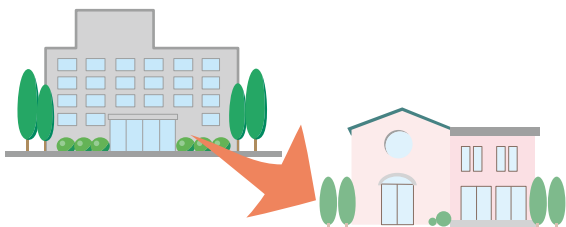
1 ワンちゃんから
少量採血します。



2 血液（血清・血漿）を
検査センターに送ります。



3 検査センターから動物病院に
結果が届きます。



ワクチン抗体価検査 ご利用のチェックポイント

- 早くお散歩デビューさせたいけど、感染症が心配
- ワクチンによるアレルギー反応が認められたことがある
- 免疫抑制剤で治療中である
- ステロイドで治療中である
- 持病を抱えているためワクチン接種の負担をかけたくない
- 高齢なのでワクチン接種の負担をかけたくない




（お宅の愛犬に一つでも心当たりがあれば、
かかりつけの獣医師にご相談ください。）

動物病院名

犬のワクチン抗体価検査 子犬編・成犬編



ワンちゃんとの
楽しい生活のために！

『犬や猫のワクチン抗体価検査について知ろう』
弊社の飼主さま向けサイトは
こちら 

株式会社エム・エル・ティー

子犬へのご利用事例



子犬のお散歩デビューを早めるために

【子犬の社会化期について】

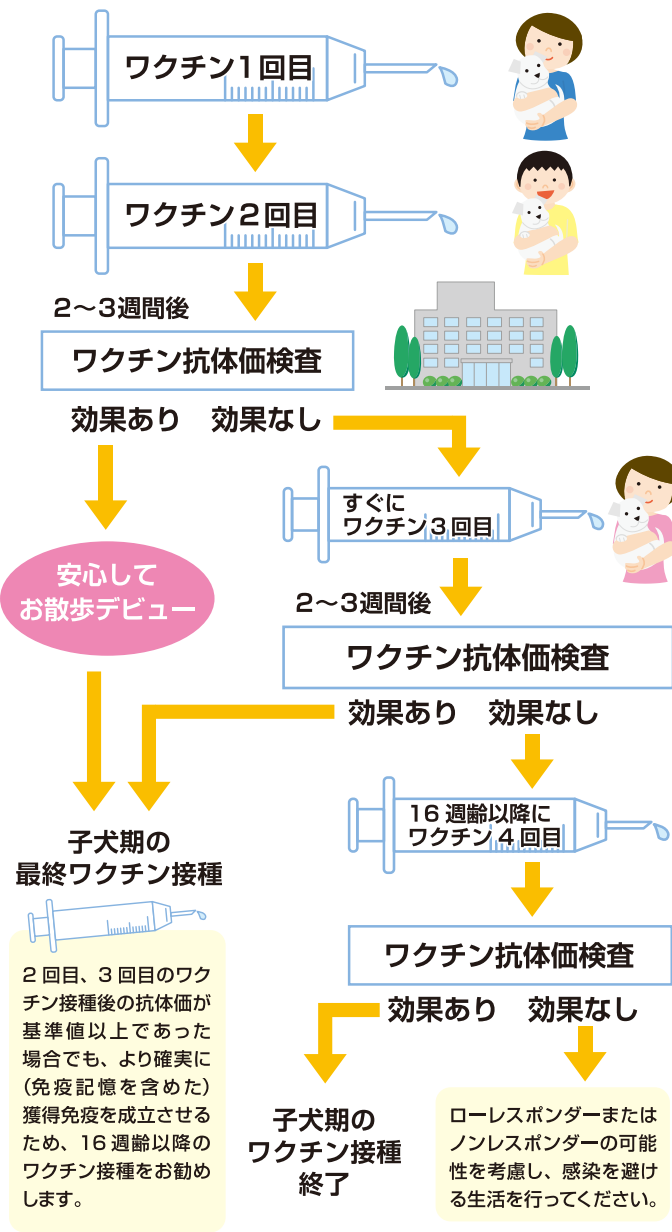
ヒトと犬と一緒に暮らしていくためには、犬自身が社会の出来事に対応できなければなりません。生活環境にならしていく、すなわち子犬の社会化のために最も大切な時期は生後3か月までと言われています。

このためには、なるべく早い時期から積極的に色々なことを子犬に体験させることが必要です。日常的なありきたりの刺激だけではなく、できればそれに加えて、いろいろな場所を散歩させることが子犬の社会化には一番効率的です。しかしながら、重要な感染症に対する抵抗力が十分に高まるまでは、屋外の散歩や他の犬との接触は避けなければなりません。

弊社では、「ワンちゃんを早くお散歩デビューさせたい」というペットオーナー様のご要望にお応えするために、ワクチン抗体価検査をご用意しております。2回目のワクチン接種後にワクチン抗体価検査をご利用ください。重要な感染症に対する抵抗力が確認できれば、すぐにでもお散歩デビューを迎えられることが可能になります。(幼齢期における、通常のワクチンプログラムと比較して2~4週早くお散歩デビューが可能になります)

なお、無事お散歩デビューをしたワンちゃんでも、より確実に(免疫記憶を含めた)獲得免疫を成立させるため、16週齢以降に子犬期の最終ワクチン接種をお勧めします。

子犬のお散歩デビューまでの流れ



👉 詳細はかかりつけの獣医師にお尋ねください。

成犬へのご利用事例



ワクチンアレルギーを経験したワンちゃん、ステロイド剤や免疫抑制剤を服用しているワンちゃん、重要な感染症に対する抵抗力をモニタリングするために

ワクチン抗体価検査を実施することで、ワンちゃんの重要な感染症に対する抵抗力を数値化してモニタリングすることができます。ワンちゃんの重要な感染症に対する抵抗力、およびペットオーナー様とワンちゃんの生活スタイルに合わせた感染症予防のご選択が可能になります。

弊社では、「疾患や投薬などの理由でワクチンを接種したくない」というペットオーナー様のご要望にお応えするために、ワクチン抗体価検査をご用意しております。ワクチン抗体価検査を利用してワンちゃんの重要な感染症に対する抵抗力がどの程度残存しているかご確認ください。そのデータを基に獣医師が、ペットオーナー様とワンちゃんの生活スタイルに合わせた感染症予防対策をご提案いたします。

👉 詳細はかかりつけの獣医師にお尋ねください。

